

留学報告書 ～アナザースカイ～

東義大学校
国際文化学部生（長期）

私は、一年間という韓国での留学生生活を有意義に過ごすことが出来たと心から思っています。韓国の中でも下の方に位置する釜山という地域にやって来ました。留学をする前にも一度だけ旅行として釜山に来たことがあったので、どんな場所なのかは知っていましたが、一年間を外国で生活するので、不安もありました。しかし、本当に行きたくて仕方なかった韓国への留学を『楽しむ』ということは何よりも大切にして無事に一年間を終えることが出来たので本当に嬉しいです。

ここからは学期別で釜山での留学生生活を振り返って行きたいと思います。秋学期は、一からのスタートでもありました。新しい環境で、新しい仲間と…全てが新鮮で新しい始まりでした。午前中は韓国語を学ぶために語学堂に行きました。語学堂のクラスで日本人は私だけでしたが、そのおかげもあって積極的に韓国語を使うことが出来たと思います。レベルテストを受けて振り分けられたクラスなので、みんなと同じぐらいのペースで勉強していけるのだと最初のスタートから完全に安心しきっていましたが、実際は違って私の何十倍も単語を知っていて、積極的に韓国語を使い発言をしている子たちがほとんどでした。なので私自身みんなについて行くのに必死でした。最初から自分の遅れを感じ焦ってしまいましたが、負けたくなくて少しでも追いつきたくて、一生懸命に勉強したことを鮮明に覚えています。その甲斐もあってより楽しく韓国語を勉強できました。語学堂で一生懸命に勉強をしたからこそ、今もこうして韓国語を楽しく話せているのだと実感します。語学堂で仲良くなった外国人のお友達も、みんな韓国語が上手になりたいという同じ目標を持って頑張ってきた仲間なので、語学堂で過ごした時間は、私にとって強く思い入れがあり、これからも大きな自信に繋がる大切な経験です。

私が何より楽しみにしていて大好きだったことは遊ぶことです。勉強をするときはしっかりして、遊ぶときは楽しく遊ぶ。週末は積極的に外に出向きました。写真を撮って思い出に残すことが好きなので、カフェや景色が良い場所に行って遊ぶことが本当に楽しかったです。特に、カフェには沢山の時間を費やしました。韓国のカフェは、日本とはまた違う感性があり個性的なカフェが多いです。カフェでお店が固まっている場所も多いです。韓国人はアメリカノがお好き、という言葉の通り食後には必ずカフェに立ち寄るという韓国人の方が多いと思います。なので、私も色々なカフェに行ってみたいという好奇心から、留学中に沢山のカフェに行ってきましたが、一年が短すぎるぐらい韓国には沢山のカフェが存在します。行っても行ってもまだまだ行ったことのないお店ばかりです。お店の入れ替わりも激しいので、常に新しいものを発信していく韓国らしい文化を留学中に強く感じました。日本と近い国ではありますが、文化が違えば食も建物も日本と大きく異なります。違う点を見つけることも楽しみの一つでした。違うからこそ面白くて、価値観が広がり受け入れやすくなります。

釜山は、首都のソウルへ行くには少し時間が掛かってしましますが、他の国内旅行に行くにはもってこいの良い位置にあります。なので、釜山以外の地域に気軽に行くことが出来るのでプチ旅行としてどこかに行くのがとても楽しかったです。

秋学期が終わり冬休みの期間に入ったときには、一人で過ごすことが多くありましたが、友達と遊んだり、一人で出掛けたりもしました。特に、韓国人のお友達の故郷に行くことが留学中にしてみたかったことの一つだったので、それをきっかけにより多くの地域に行くことが出来たととても嬉しかったです。

春学期は新学期ということで、また新しいことの始まりでした。秋学期とは違い学部授業がメインになるので、韓国人の学生と同じ授業を聞くこととなります。幸いにも授業中

に助けてくれる人が多く、本当に嬉しかったです。私が履修していた授業の中で一番やりがいを感じた授業は、海洋観光論という授業です。この授業では、主に韓国国内の海洋観光について考え、海洋観光をもっと盛り上げていくにはどうしていくべきかをみんなで考えていく授業です。みんなで話し合いをすることが多くなるので、あらかじめくじ引きを行い、一グループに四人から五人で活動をして行きます。同じグループになった三人の韓国人の子たちには何から何まで助けてくれて、本当に感謝しかありません。自分の語学力に正直自信がなかったのが、韓国人の子と上手くコミュニケーションを取れるのか心配でしたが、グループで話し合いをする時も、私が理解できるようにゆっくり話してくれたり、課題を出す時もテストの前にも、分かりやすいように説明をしてくれたりと優しさと気遣いを感じました。秋学期の時よりも、一人で決断し行動することが多かったのが、より成長を感じることができた一年なのではないかと思えます。

特に春学期は、充実した時間ばかりで、より多くの人との出会いがあり、より沢山の交流をすることが出来ました。韓国人のお友達も出来ました。釜山で出会った日本人の子もいます。素敵なお友達に囲まれて過ごした一年という長いようで短い留学生活は、最初から最後まで意味のある濃い時間でした。私と関わって下さった全てのお友達に、支えてくれた分、次は私が何かお返しできるような人になりたいです。

帰国をする前にも、私と特に親しくしてくれていたお友達がサプライズして下さり、最後までこんなに幸せでいいのかと思ってしまうぐらい嬉しかったです。韓国人の方々は、情に厚く、お友達になったら最後まで面倒を見てくれるようなお兄ちゃん、お姉ちゃんばかりです。

留学生活を終えて、いつかまた長期滞在で釜山に戻りたいという気持ちももっと強くなりました。恵まれた環境で、のびのびと充実した留学生活を過ごすことが出来ました。こうして機会を下さり、本当にありがとうございました。この経験は、これからも私にとってかけがえのない大切な人生の一部です。そして、一年間を大好きな釜山で、素敵なお友達に囲まれてここまで楽しく過ごすことが出来たこの場所は、私にとって第二の故郷です。



